

2010年（平成22年）度
食品等輸入届出業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）
の最適化実施状況報告書

2011年（平成23年）6月20日

1. 食品等輸入届出業務（輸出入及び港湾・空港手続関係業務）の概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	厚生労働省医薬食品局食品安全部企画情報課 検疫所業務管理室
対象期間	2010年4月1日～2011年3月31日
最適化工程の段階	運用段階

2. 最適化実施状況

輸入食品監視支援システムの運用

（最適化の実施内容）

輸入食品監視支援システムの運用を行う。

（最適化の実施状況）

○個別管理組織、アプリケーション保守事業者、ハードウェア保守事業者、運用事業者間での運用・保守作業実施報告会を月次で開催し、運用・保守の実施状況の把握を行っている。また、定期的に契約事業者による内部監査を実施し、システムのリスク評価等を行っている。

3. その他

FAINSでは、これまで最適化計画に基づき、利便性の向上、業務効率化及び経費削減を実施してきたが、2007年5月にとりまとめられた「アジア・ゲートウェイ戦略会議」での検討結果や、同年10月の関係省庁での連絡会議を踏まえ、FAINSを含む各省の輸出入等関連手続を、独立行政法人通関情報処理センター（法改正後は輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社。以下「NACCSセンター」という。）に一元的に管理されることとする方針が確定した。

これを受け、2008年10月1日から、電子情報処理組織による税関手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律（平成二十年法律第四十六号）が施行され、FAINS等の管理運営業務をNACCSセンターで実施させることが可能となり、現在、2013年10月に予定しているFAINSのNACCSへの統合に向けた検討を行っているところである。システム統合によって、

- （1）業務・機能の統廃合、ハードウェアの集約によるシステムのスリム化
- （2）データベースの統廃合、情報の相互活用による、効率的な運用・情報管理の実現
- （3）業務プログラムの一元管理による、改善等の作業の簡素化
- （4）ハードウェアの設置場所の集約、運用・保守の一元化により、システムの安定性の向上などの効果の発現が期待できる。

また、先の東日本大震災の影響により FAINS 端末を設置している拠点のうち 2 拠点でシステムの利用ができなくなり、そのうち 1 拠点については 3 月 31 日現在も復旧していない。さらに、計画停電に併せてバックアップセンターにおいてシステムの稼働を一時的に停止させたが、メインセンターの停止ではなかったため、業務への影響は発生していない。

4. 添付書類

- ・最適化効果指標・サービス指標一覧

最適化効果指標・サービス指標一覧
(食品等輸入届出業務 (輸出入及び港湾・空港手続関係業務))

2011年(平成23年)6月20日

1 最適化効果指標

(1) 最適化共通効果指標

①削減経費(単位:千円)

全体	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
最適化実施前の経費(a)	450,714	450,714	450,714	450,714	450,714
最適化実施後の経費(試算値)(b)	-	-	-	-	374,891
削減経費(目標値)((a)-(b))	-	-	-	-	75,823
最適化実施後の経費(実績値)(c)	-	-	-	-	417,736
削減経費(実績値)((a)-(c))	-	-	-	-	32,978

※府省共通システムの利用に基づくネットワークの統一化による。

②削減業務処理時間(単位:時間)

全体	2006年度	2010年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	15,360	12,160	3,200	14,060	1,300
金額換算(千円) (3,125円/時間)	48,000	38,000	10,000	43,938	4,063

削減業務処理時間の内訳(最適化実施内容単位の効果指標(単位:時間))

ア. 輸入者への検査結果通知の電子化	2006年度	2010年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	2,560	1,280	1,280	1,480	1,080
金額換算(千円) (3,125円/時間)	8,000	4,000	4,000	4,625	3,375

イ. 届出業務と検体業務の作業省力化	2006年度	2010年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	12,800	10,880	1,920	12,580	220
金額換算(千円) (3,125円/時間)	40,000	34,000	6,000	39,313	688

③オンライン申請利用率（単位：％）

【計算式：「オンライン申請件数」／「全申請件数」×100】

オンライン申請手続名		最適化実施前	初年度目
		2005年度	2006年度
食品等の輸入申請手続	目標値		91.62
	実績値	91.16	91.89
	算出式	$1,706,128/1,871,524 \times 100$	$1,696,236/1,845,994 \times 100$

※実績値について、2005,2006年度は「確定値」

※実績値について、2007年度は、19年4月～12月は「確定値」、20年1月～3月は「概算値」

※実績値について、2008～2010年度は「概算値」

	2年度目	3年度目
	2007年度	2008年度
目標値	91.75	92.00
実績値	92.60	96.11
算出式	$1,663,393/1,796,295 \times 100$	$1,690,747/1,759,202 \times 100$

	4年度目	5年度目
	2009年度	2010年度
目標値	92.65	92.70
実績値	93.39	94.86
算出式	$1,700,673/1,821,124 \times 100$	$1,887,929/1,990,215 \times 100$